

## 鳥取市議会建設水道委員会会議録

会議年月日	令和8年1月19日（月曜日）		
開 会	午前11時14分	閉 会	午前11時34分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席委員 （7名）	委員 長 加藤 茂樹 副委員 長 谷口 明子 委 員 足立 考史 秋山 智博 太田 縁 吉田 博幸 寺坂 寛夫		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	局長補佐兼庶務係長 毛利 元 議事係主任 岡崎 圭涼		
出席説明員	【都市整備部】 都市整備部長 山根 陽一 次長兼都市企画課長 河田 耕一 都市企画課課長補佐 岩崎 勝紀 次長兼河川公園課長 徳田 剛 次長兼道路課長 田村 温 道路課課長補佐 田中 裕史 次長兼建築指導課長 森田 健		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前11時14分 開会

## 【都市整備部】

◆加藤茂樹委員長 ただいまから、建設水道委員会を開催いたします。本日の日程でございますが、都市整備部から議案の説明を受け、その後、質疑、討論、採決と進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、都市整備部長に挨拶をいただいた後、議案審査に、議案説明に入りたいと思います。山根部長。

○山根陽一都市整備部長 失礼します。都市整備部の山根でございます。市長の提案説明にもございました、今年は、新年早々、1月6日でしたか、島根県東部を震源とします、マグニチュード6.4の地震が発生しまして、鳥取県の西部でも被害が発生しております。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本市では、震度3ということでしたが、念のために、道路施設をはじめ、所管施設の点検パトロールのほう、実施しまして、現地点で異常がないことを確認しております。また、あしたが大寒でございますけども、年末年始及び先週の3連休の降雪に伴って、除雪の作業のほうもさせていただいております。今週も、大雪が予測されておりますので、引き続き、態勢のほう、十分気をつけてまいりたいと思っております。

さて、本日、御審議いただく補正予算のうち、都市整備部所管の部分は、1億9,700万円余りということで、昨年12月に、国のほうで成立しました補正予算のうち、国土交通省関係の防災・減災、国土強靱化対策に呼応しまして、予算計上させていただくものでございます。また、その繰越しも提案させていただくことでございます。

簡潔な説明に努めますので、何とぞ御審議のほう、よろしく願いいたします。

◆加藤茂樹委員長 ありがとうございます。

議案の説明に入ります前に、この場の皆様一言申し上げます。まず、発言を行う際には、執行部の皆さんは、発言前に必ず所属・氏名を述べてから発言いただきますようお願いいたします。また、質疑及び答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いいたします。

**議案第1号令和7年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（説明・質疑・討論・採決）**

◆加藤茂樹委員長 それでは、議案第1号令和7年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を説明ください。河田次長。

○河田耕一次長兼都市企画課長 都市企画課、河田です。よろしくお願いいたします。鳥取市一般会計補正予算、都市整備部の所管に属する部分について説明いたします。お配りしております、右肩に赤字で資料1と記載のある、A4横の建設水道委員会説明資料により説明させていただきます。資料番号の下がページ数となります。お手元でございますでしょうか。

それでは、議案第1号関係につきまして、令和7年度鳥取市一般会計補正予算（第6号）から始め、続いて、繰越明許費の順に説明させていただきます。歳入につきましては、歳出の財源がほとんどであるため、歳出を中心に説明させていただきます。

それでは、まず、2ページの上段を御覧ください。都市整備部歳出合計、補正前の額65億6,814万8,000円に対しまして、今回の補正額1億9,775万円、補正後の額は67億6,589万8,000円でございます。以降、担当課より、順に説明させていただきます。

まず、都市企画課分の一般会計補正予算について御説明いたします。同じく、2ページの下段を御覧ください。急傾斜地崩壊対策県営事業負担金（令和7年度国1次補正）でございます。予算書は27ページ、事業別概要は25ページ上段となります。款土木費、項河川費、目河川総務費、細目5の急傾斜地崩壊対策県営事業負担金のうち、細々目（急傾斜地崩壊対策県営事業負担金（令和7年度国1次補正））でございます。補正額は2,660万円でございます。

次に、3ページを御覧ください。国の補正予算に呼応して、県が実施する、急傾斜地崩壊対策県営事業に要する経費の一部を市が負担することにより、高路B地区など、10件で、のり枠

工事などを実施するものです。県営事業の補正に伴い、市の負担金 2,660 万円を計上させていただくものです。特定財源としては、補正予算債を活用します。なお、県事業の実施計画に応じ、全額を繰越しするものでございます。

2 ページに戻っていただきまして、一番下の行を御覧ください。都市企画課歳出合計、補正前の額 3 億 7,990 万 3,000 円に対しまして、補正額 2,660 万円、補正後の額 4 億 650 万 3,000 円とするものです。都市企画課については、以上でございます。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 道路課、田村です。資料 1 の 4 ページを御覧ください。予算書は 25 ページ、事業別概要書は 25 ページの下段となります。目道路新設改良費、細目（防災・安全交付金事業費（令和 7 年度国 1 次補正））、1 億 7,115 万円を計上させていただいております。国の補助金を活用して、橋梁の長寿命化対策として、長尾坂魚見台線（長尾坂橋）の橋梁修繕工事、及び、通学路点検により抽出された通学路 4 路線の歩道整備を進める予定としております。地方債につきましては、補正債となります。

道路課補正後、補正後の合計は 1 億 7,115 万円の増額、補正後の額 32 億 1,711 万 4,000 円です。

資料 1 の 5 ページを御覧ください。これは、今回、工事及び業務の箇所となっております。

資料 1 の 6 ページを御覧ください。国の補助金を活用して、橋梁の長寿命化対策として、長尾坂魚見台線（長尾坂橋）の橋梁修繕を行うものでございます。

7 ページを御覧ください。これも、国の補助金を活用して、湖山西小学校の通学路である、市道湖山北 11 号線の 145 メーターの歩道整備を行うものでございます。これは、令和 3 年度通学路合同点検により、整備が必要となった歩道整備となっております。

8 ページを御覧ください。これも、国の補助金を活用して、西中学校の通学路である、市道大森通り 170 メーターの歩道整備を行うものでございます。これも、令和 3 年度通学路合同点検により、整備が必要となった歩道整備でございます。

9 ページを御覧ください。国の補助金を活用して、浜坂小学校の通学路である、市道丸山浜坂 1 号線の歩道舗装、300 平米を行うものでございます。これも、令和 3 年度通学路合同点検により、整備が必要となった歩道整備でございます。

10 ページを御覧ください。これも、国の補助金を活用して、南中校区の通学路である、都市計画道路大工町土居叶線（市道中筋）の歩道整備を、歩道整備に係る物件調査を行うものでございます。こちらは、令和 5 年度通学路合同点検により、整備が必要となった歩道整備でございます。以上でございます。

◆加藤茂樹委員長 河田次長。

○河田耕一次長兼都市企画課長 都市企画課、河田です。続きまして、繰越明許費について説明させていただきます。資料は 11 ページを御覧ください。予算書は、32 ページ～41 ページでございます。このたび、繰越明許費を計上させていただきますのは、都市企画課・道路課の各 1 事業でございます。繰越明許費の都市整備部合計 1 億 9,775 万円をお願いするものです。以降、担当課より説明いたします。

まず、都市企画課です。11 ページの上段を御覧ください。急傾斜地崩壊対策県営事業負担金（令和7年度国1次補正）につきましては、先ほど、2 ページで説明いたしましたとおり、県が行う高路B地区など、10 地区ののり面工事などにおいて、国の補正予算に呼応した県事業の実施計画に応じ、2,660 万円全額を繰越計上させていただくものでございます。都市企画課は、以上でございます。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 道路課、田村です。同じく、11 ページの下のほうを御覧ください。予算書は 41 ページとなります。防災・安全交付金事業（令和7年度国1次補正）、繰越予算額合計 1 億 7,115 万円を計上しております。繰越理由は、国の1次補正に呼応するためでございます。

資料1の5ページを、5ページにお戻りください。先ほど説明させていただいた、5路線全てを繰越しするものでございます。

繰越明許費、道路課 1 億 7,115 万円となります。以上でございます。

◆加藤茂樹委員長 説明いただきました。

これより、議案第1号令和7年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分の質疑を行います。質疑のある方は、順次御発言ください。

◆加藤茂樹委員長 寺坂委員。

◆寺坂寛夫委員 防災・安全交付金事業費の中で、8 ページに、市道大森通りということで、歩道改良工事ということで上がってますけど、この手前に、市道梶川通りとの合流点、この交差点があるわけですけどね、これが、極端に言やあ、45 度ちゅうか、135 度のカーブになって、交差点になって、幹線が。これ、設計等できるかどうか分かりませんが、その辺の改良とか、せっかく国の工事であり、物件移転でも、もう少し緩いカーブを持ってくるとか、幹線自体を、その辺を検討されとるのか、その辺をちょっとお尋ねします。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 道路課、田村です。ちょうどですね、ちょうど梶川通りと大森通りの交差点なんですけど、ちょうど浅井薬局さんが多分あったと思うんですけど、そちらのほうはですね、事業に協力していただけるということで、そちらのほうは買収ができて、ちょっと交差点をきれいに、直角側に形状できるようにはできたんですけど、反対の西品治側にも、ちょっといろいろ協力できないかと伺ったんですけど、そちらのほうには、ちょっと、ちょっと同意しかねるということで、そちらのほうは現況のままということで、一部でも、交差点が直角になって、ちょっと緩やかになるので、そちらのほうで何とかしていきたいなというふうに考えております。

◆加藤茂樹委員長 寺坂委員。

◆寺坂寛夫委員 現状でもですね、あそこの、やはり信号が青でしたら、すーっと行くんですけど、それと併せて、城北高校の生徒が自転車とか歩行者、あらゆる面が、ちょうど直角、その角度で、非常に危険な状態というのがあったりして、その辺がありますんで、できるだけ、その辺の説得等に向かって、改良のほう、移転でもしてもらって、せっかく国のほうの事業で

すので、交付金事業ですので、一部はできたっちゅうこと聞きましたけど、その辺も交渉を進めてもらって、安全な交差点になるようにお願いしたいと思います。以上です。

◆加藤茂樹委員長 そのほかございますか。谷口副委員長。

◆谷口明子副委員長 谷口です。資料9の防災・安全交付金事業費の、この浜坂のところの交差点なんですけども、今回、歩道のという話、通学路点検での歩道でのっていうことでありまして、ありますが、この交差点のところにあるグレーチングがとても危なくてっていう声が何件もお聴きしていて、ただ、県道になるので、市道ではないのでね、ちょっとここで質問するのも、どうかななんて思ったんですけども、もしね、改良してもらえたらと思って、そういった状況とかが分かれば、教えてもらいたいなどは思うんですけども、いかがでしょうか。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 一応ですね、ここ、県道のバチになっておりまして、以前も消雪パイプをちょっと直したときに、県のほうに、ここに全て水が、消雪パイプの水が来るっていうことで、1回、全て直してもらえんかというお願いはしてるんですけど、そのときも、今の状態で問題ないという回答をいただいとるんで、また再び県のほうに、そういう要望が上がってるよっていうことをお伝えしたいと考えています。以上です。

◆谷口明子副委員長 よろしくお願ひします。

◆加藤茂樹委員長 そのほかございますか。吉田委員。

◆吉田博幸委員 さっき、寺坂さんのほうも話されたところ、反対側の新品治側。これは、どういような話をしんさっただ。危険は承知なだろう、みんなが、あそこは危ないだけえ。話の持っていきようもあるんじゃないかなと思って、言いようるところだ。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 交差点自体は、根本的に、直角にするってというのが原則でありまして、それで、ちょうど袋川から来るほうも、ちょうど浅井薬局側に直角、そうしたら、きれいな法線が本線もできるっていうことで、浅井薬局側は説得しております。それで、西品治側もですね、実を言うと、今度、中電側のほうに、こういうカーブで線、逆側にやったら鋭角になるので、実際は効果がないので、実を言うと、あんまり言いたくないんですけど、中電側の方をお願いしたんですけど、直角になるように、そちらのほうはちょっと家が狭くなるのでっていうことで、ちょっと無理だっっていうことを言われたので、また、建て直されるときとかね、そういうチャンスのときに、また何うしかないのかなというふうに考えているところでございます。

◆吉田博幸委員 あんまり、さあ、奥行きがない家だけなあ、屋敷だけなあ、あそこが。ちょっと難しいかしらんなあ。分かりました。

◆加藤茂樹委員長 そのほかございますか。太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。10ページにお示しいただいてるんですけども、丁寧に、標準断面図があるんですけど、すみません、字が潰れて見えなくて、道路幅のみ、お示しいただいたらというふうに思います。よろしくお願ひします。

◆加藤茂樹委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 歩道はですね、3.5メートル、両側歩道で、車道も3.5、停車帯が1.5の道路幅員となっております。

◆太田 縁委員 分かりました。

◆加藤茂樹委員長 そのほかございますか。質疑なしと認め、質疑を終結します。

それでは、討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆加藤茂樹委員長 討論なしと認め、討論を終結をします。

これより、議案第1号令和7年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決をします。本案に賛成の方は、挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆加藤茂樹委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、建設水道委員会を閉会します。お疲れさまでした。

午前11時34分 閉会

# 令和8年1月鳥取市議会臨時会 建設水道委員会 (議案審査)

日時：令和8年1月19日(月)  
本会議休憩中

(福祉保健委員会終了後)

場所：本庁舎7階 第1委員会室  
(福祉保健委員会終了後)

## 都市整備部

### 1. 議案(説明・質疑・討論・採決)

議案第1号 令和7年度鳥取市一般会計補正予算(第6号)【所管に属する部分】